

	学 年	単 元(題材)	学 習 内 容
⑩	3	2けたかけ算 3	2位数×1位数の筆算

1つ32円のお菓子を3つ買います。
代金はいくらでしょう。



誤答例

- ・32+32+32(間違えではないが)
- ・

$$\begin{array}{r} 32 \\ \times 3 \\ \hline 906 \end{array}$$

つまづき方

- ・「1つ分」×「いくつ分」=「全体」が具体的にイメージできない。
- ・筆算の手順を忘れてしまう。

原因

- ・既習内容の中で、より効率的な方法を選択できない。
- ・ $30 \times 3 = 90$ を位を考えずに書いてしまう。

支援の手だて (指導方法, 教材・教具, ワークシート, ヒントカード, 指導形態の工夫など)

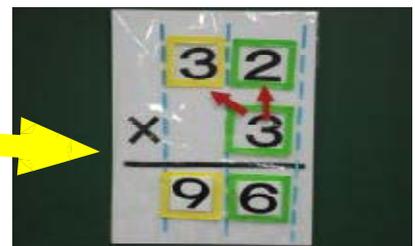
(1) 10の位と1の位を色分けした磁石玉を活用し、児童が発表しやすいようにする。

黒板用と発表用が対応していると、安心して発表できます。聞く側にとっても、わかりやすいですね！



(2) ワークシートに対応した**デジタルコンテンツ**を活用して、筆算の手順を確認する。デジタルコンテンツは、色や音の変化で児童の興味を引くには有効である。それに加えて、右の写真のような**計算手順が確認できる教具**を掲示しておくことで、練習問題に取り組む時に有効な手がかりになる。

→デジタルコンテンツは添付ファイル参照



(3) 1枚に2問提示した練習問題綴りを活用し、**1問ごとに**集中できるようにするとともに、一人一人が時間や難度に応じて取り組めるようにする。

↓
別紙シート参照

1問ずつだと、自分のペースで集中して取り組めます。(ゆっくりな子もはやい子も)

